

越前スイセン促成栽培の4枚葉率向上技術

1 はじめに

越前スイセンは福井の県花であり、栽培面積は約75haで平成29年には103万本が出荷されており(JA出荷数量)、本県の重要な切花産地となっています。出荷される越前スイセンは、花首が伸びすぎず、4枚の葉の長さが揃ったものが高値で取引されます。そこで、高温処理をすることにより商品価値の高い越前スイセンの生産に効果的な技術を開発したので紹介します。

2 高温処理手順



3 技術の効果

- 4枚葉率: 48% → 86.7% (4枚葉率グラフ参照)
- エチレン処理後の高温処理により、4枚葉率が向上し、更に、葉の長さが均一になり、切り花の秀品率が高まります(草姿の写真を参照)。
- エチレン処理前の高温処理期間を3週間にすることで、比較的小さい球根の4枚葉率も上がります。

4 経済効果

- 市場価格 : 秀品(4枚葉) 62円/本
- : 4枚葉以外 25.8円/本



1万本/a 当たり

【慣行】 62円 × 4,800本(48%) + 25.8円 × 5,200本(52%) = 431,760円

【高温処理法】 62円 × 8,670本(86.7%) + 25.8円 × 1,330本(13.3%) = 571,854円

販売金額増 140,094円(571,854円 - 431,760円) ※別途球根処理経費がかかる。